

事務事業評価票

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110515			
事務事業名	スポーツ振興事業					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施策項目	スポーツの振興										
前期計画登載頁	47		頁	個別計画	スポーツ推進計画						
事業期間	平成	26	年	～	平成	35	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	市民一人ひとりが、それぞれの年齢や体力等にに応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図る。									
事業内容	【スポーツ教室】運動遊び教室、スラックライン教室、ボルダリング教室、親子ふれあいスポーツ教室など 【補助金・負担金】総合型地域スポーツクラブへの負担金、体育協会、スポーツ少年団への補助、スポーツ振興事業（青少年スポーツ振興事業、生涯スポーツ振興事業、指導者等人材育成事業） 【松本山雅の活用】小学校、保育園等でのサッカー教室、巡回指導等 ホームタウンデー等での大町市のPRなど 【その他】JFA「夢の教室」、スポーツイベント（スポフェスおおまち）開催									
事業費	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	総事業費（決算額）	9,276,407 円		11,319,763 円		10,592,245 円				
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		円	
		県支出金	円		円		円		円	
		起債	円		円		円		円	
		その他財源	円		円		円		円	
一般財源	9,276,407 円		11,319,763 円		10,592,245 円					
活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）		
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値		
	①	スポーツ教室	回	74	82	104	70	148.6%	110	
	②	スポーツクラブ競技数	競技	6	8	8	—		10	
③	スポフェスおおまち参加団体	団体	—	—	6	—		12		
成果指標	1. 数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）			
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値		
	①	スポーツ教室	人	2,038	3,400	3,208	2,400	133.7%	3,200	
	②	スポーツクラブ加入者数	人	218	253	242	—		250	
	③	スポフェスおおまち参加者数	人	—	—	500	—		1,200	
	2. 数値で表せない効果	(指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり			
点数	3	3	3	3	3	2	継続	17	18	

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室は、年齢や体力、目的等に合わせたスポーツによる健康、体力づくりと、誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等の教室を主に開催をしているが、教室の開催数等を増やすことは現状では人的、日程的に困難である。 ・29年度、新たにスポーツ振興事業補助金を創設したが、周知が不十分な面があり申請が少ない状況であった。また、補助基準についても、青少年スポーツ振興事業では、競技種目や人数の差等、大会の基準や団体と個人の基準額について見直しが必要であり、他の事業も併せ効果的な運用を図るためにも見直しが必要と考える。 ・総合型地域スポーツクラブについては、地域におけるスポーツ活動の拠点として、また、人材育成や地域づくりの観点からも非常に重要となってくるものと考えており、育成、充実を図っていく必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度にスポーツ推進計画の中間見直しを予定しており、事務事業がより効果的に実施できるよう見直しをする。昨年開催した第二屋内運動場オープニングイベントの様々、大勢の市民が気軽にスポーツを体験し、スポーツに関心を持ち健康づくり、体力づくりにつながる事業を実施していく。 ・スポーツ振興事業補助金は、補助基準について見直しを行うとともに、広報等での周知や体育協会評議員会、連合自治会総会などで説明を行うなど周知を図り、活用促進を図る。 ・総合型地域スポーツクラブは、自立して継続的にクラブ運営を行うための支援が必要であり、クラブマネージャーの配置等について検討したい。 ・第二屋内運動場の完成オープニングイベントとして「スポフェスおおまち」を開催したが、30年度からは、大勢の市民に、様々なスポーツを体験し関心をもっていただく機会として規模を拡大し継続的に開催していきたい。